

エミレーツ航空、成田国際空港における運航を1日2便へ拡大



アラブ首長国連邦（UAE）ドバイ、2026年2月5日：エミレーツ航空は、成田国際空港における旅客運航体制を拡大し、2026年5月1日より毎日2便を運航すると発表しました。本便は客室をリニューアルしたボーイング777-300ER型機にて運航されます。

今回追加となるEK320便は、ドバイを22時30分に出発し、成田国際空港に翌日13時30分に到着します。EK321便は、成田国際空港を21時30分に出発し、ドバイに翌日3時50分に到着します（いずれも現地時間）。

この2便目の運航により、ドバイでのストップオーバーを含む複数都市周遊など、より柔軟な旅程の設定が可能となります。例えば、成田着便は午後に到着するため、日本国内各地への接続性が高まり、欧州および中東の主要市場からの乗り継ぎ時間の短縮につながります。また、成田発便をご利用のお客さまは、ドバイに早朝到着することで、欧州、アフリカ、南米の主要都市へのスムーズな乗り継ぎが可能となります。人気の渡航先としては、スペイン、ポルトガル、フランス、イタリア、南アフリカ、エジプト、モロッコ、チュニジア、ブラジルなどが挙げられます。

成田国際空港発着のEK320/EK321便に改修を施したボーイング777-300ER型機を使用することで、エミレーツ航空は、日本のお客さまに一貫した旅行体験を提供するという取り組みをさらに強化します。本機はモダンなカラーパレットや特別にデザインされたガフの木のモチーフ、木目調の仕上げなど、新たなデザイン要素を取り入れたアップグレード済みの内装を、4つの客室クラスすべてに備えています。座席数は、最新世代のエコノミークラス260席、プレミアム・エコノミークラス24席、1-2-1配列のビジネスクラス40席、ファーストクラス・スイート8席です。

懐石料理をはじめとする日本の食文化を取り入れたお食事の提供により、機内サービスがさらに充実します。また、すべての客室クラスのお客さまは、エミレーツ航空が誇る受賞歴のある機内エンターテインメントシステムiceを通じて、映画、テレビシリーズ、ポッドキャスト、音楽、ドキュメンタリーなど、6,500以上のオンデマンドチャンネルをお楽しみいただけます。日本語コンテンツもお楽しみいただけます。

航空券は、エミレーツ航空公式ウェブサイト [emirates.com](https://www.emirates.com)、エミレーツ航空アプリ、旅行会社、ならびにエミレーツ航空コンタクトセンターなどを通じてご予約いただけます。

日本におけるエミレーツ航空

エミレーツ航空は 2002 年より日本に就航しており、現在成田国際空港、東京国際空港（羽田）、関西国際空港へ毎日 3 便を運航しています。すべての便において、ボーイング 777 型機およびエアバス A380 型機の両機材でプレミアム・エコノミークラスをご提供しています。

5 月 1 日より、エミレーツ航空は日本の 3 空港を発着する週 28 便において、日本発着で最大 22,500 席以上の座席を提供します。また、旅客便に加え、現在運航中の週 3 便の貨物専用機を含め、週あたり最大 1,240 トンの貨物輸送能力を確保することで、湾岸地域、欧州、アフリカの主要貿易市場へ製品を輸送する国内企業のニーズに幅広く応えます。

エミレーツ航空は本年 2 月より成田国際空港において、ファーストクラスおよびビジネスクラスのお客さま向けに、世界水準の運転手付き送迎サービスを導入し、さらなる充実を図りました。本サービスは、3 月 1 日より関西国際空港をご利用の対象のお客さまにも拡大されます。

エミレーツ航空は、日本航空（JAL）、全日本空輸（ANA）、ジェットスター・ジャパンとの提携を通じてネットワークを拡充しており、日本国内 26 都市およびアジア太平洋地域 10 都市を含む計 36 都市へのアクセスを提供しています。今回の成田国際空港への増便により、これらの都市およびその先の目的地への乗り継ぎの柔軟性と利便性がさらに向上します。